

（４）放課後児童の健全育成

～みんなで「ただいま！」元気いっぱい、
放課後児童クラブ～

現状・課題

●「放課後児童健全育成事業」（放課後児童クラブ）は、共働き等の理由により、昼間保護者のいない小学校に通う児童に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供して、児童の健全な育成を図ることを目的としています。

●本市では、平成20年度から、放課後の児童の安全な居場所を確保することを目的に、学齢・共働き等の理由に関係なく、希望するすべての児童を受け入れる、いわゆる「全児童化」を全国に先駆けて実施しています。

●放課後児童クラブを運営するにあたっては、児童が安全に安心して過ごすことのできる生活の場と、遊びなどの活動拠点としての機能を持つ専用区画を設け、快適な空間を提供することが必要となります。現在、クラブの施設・環境について「満足している」と回答した保護者の割合は、69.0%となっています。

●「開所日・開所時間」について「満足している」と回答した保護者の割合は、70.9%となっています。全クラブで18時30分以降までの開所を実現しており、さらに19時までの開所が全クラブでの68.5%になるなど、ニーズに応じた利用時間の拡大がその理由と考えられます。

●放課後児童クラブは、校区社会福祉協議会や社会福祉法人などが運営主体となり、地域の特色を活かした魅力ある運営を行っていますが、利用児童が増加している現状を踏まえ、運営主体に対する継続した支援が必要です。

方向性

●「全児童化」の方針を継続していくとともに、女性の就業率の上昇等の影響により、年々利用児童数が増加している状況を踏まえ、より快適な施設環境を提供する観点から、引き続き必要な環境整備に取り組んでいきます。

●時代のニーズを的確に把握しつつ、児童の生活リズムにも配慮したクラブの適切な利用時間について、検討を続けます。

●子どもの社会性の習得や発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるよう、放課後児童支援員に対する研修に加え、巡回カウンセラーやアドバイザーの巡回・派遣等を行い、クラブの運営をサポートしていくなど、今後とも運営体制の強化や質の向上に取り組んでいきます。

主な取り組み

①放課後児童クラブの環境整備

〔子ども家庭局こども若者育成課〕

放課後児童の健全育成の充実を図るため、放課後児童クラブで小学1～3年生の留守家庭に限らず希望する全ての児童を対象として受け入れています。

放課後児童クラブの施設環境の充実を図るため、計画的に増設等の施設整備を行っています。また、利用者ニーズに対応するため、開所時間の午後7時までの延長や保護者負担金等の標準化を推進しています。

◆放課後児童クラブ数および設置校区数（4月1日現在） （全クラブ全児童化実施済み）

年度	クラブ数	校区数
2	132クラブ	126校区
3	132クラブ	126校区
4	132クラブ	125校区
5	132クラブ	124校区
6	130クラブ	124校区

◆登録児童数および待機児童数（4月1日現在）

年度	登録児童数		待機児童	
		高学年児童数	人数	クラブ数
2	12,923人	3,279人	0人	0クラブ
3	11,672人	2,628人	0人	0クラブ
4	11,914人	2,700人	0人	0クラブ
5	12,420人	2,802人	0人	0クラブ
6	12,948人	3,136人	0人	0クラブ

※施設整備により、平成29年内に解消

◆施設整備数

年度	か所数
元	10か所
2	10か所
3	5か所
4	6か所
5	3か所

◆開所時間（4月1日現在）

年度	18時30分以降まで 開所しているクラブ数	左記のうち19時以降まで 開所しているクラブ数
2	132クラブ(100%)	87クラブ(65.9%)
3	132クラブ(100%)	87クラブ(65.9%)
4	132クラブ(100%)	89クラブ(67.4%)
5	132クラブ(100%)	90クラブ(68.2%)
6	130クラブ(100%)	89クラブ(68.5%)

◆放課後児童クラブに対する満足度

年度	施設・環境 満足度	開所日・開所時間 満足度
元	56.4%	70.1%
2	71.4%	80.3%
3	69.1%	80.8%
4	72.0%	83.8%
5	69.0%	70.9%

資料：「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」に関する市民アンケート調査
(平成28～令和元年度)

「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」に関する市民アンケート調査
(令和2～令和5年度)

② 放課後児童クラブの魅力の維持・向上

体系的な研修の充実や巡回カウンセラーの派遣などにより、放課後児童支援員等の資質向上を図っています。また、放課後児童クラブアドバイザーの派遣を通じ、児童への対応等についてクラブと学校等との連携を促進し、クラブの魅力向上を図っていきます。